


# 一般質問通告書

【第82回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様  
 多可町議会議員 笹倉政芳 

|                |    |
|----------------|----|
| 受 領 日          | 番号 |
| 平成 29年 12月 / 日 | 2  |
| 午前・午後 9時 00分   |    |

| 質問の項目及び要旨   | 答弁を求める者 |
|---|---------|
| 1. 町長の所信表明を問う   | 町長      |
| * 「民でできるものは民へ」の具体案は<br>* 企業誘致と地域産業の育成の方向性は<br>* 「子育てするなら多可町で」の環境の整備は<br>* 職員は黒子に徹するべきの真意は |         |
| 2.  |         |
| 3.  |         |

## 質 問 の 内 容

さて、吉田町長は長年行政にかかわってこられた町長ですので、多可町の財政をはじめ様々な分野においても大変厳しい状況にあることは一番わかっておられると思います。何とかしてこの多可町を活性化したいと、強い信念と覚悟をもって立ち上がられたと思い、大いに期待するところであります。そこで早速ですが、今後待ったなしの財政健全化・人材育成・地域創生に向けてどう取り組まれていくのか考えをお聞かせいただきたいと思います。

まず、町長の公約に「未来への約束」を掲げ「堅実な行政への変革、そして子育てするなら多可町」と訴えられました。その主要政策として行政システムの効率化の中に民間活力を利用した、行政サービスの産業化「民で出来るものは民へ」とありますが、指定管理施設の見直し等を踏まえ現段階での具体的な案があるのか答弁を求めます。

また、地域産業の育成と雇用確保という中では積極的な企業誘致と事業承継を推進し多可町の事業所を減らさないとありますが、多可町には工業団地の整備不足と交通インフラの遅れの課題、事業承継も経営は黒字でも後継者がなく廃業せざるを得ない事業所も出てきており大きな岐路に立っているのが現状です。どんな形で克服して行こうと考えておられるのか答弁を求めます。

次に、少子化対策と子育て環境の整備ということで、乳幼児の母親支援に予算を優先確保し、「子育てするなら多可町」を目指すと思いますが、現状多可町も近隣市町に劣らない施策を展開しています。今ある支援に何を加えた展開を思い描いておられるのか答弁を求めます。

当時理事であった吉田町長は、役場を退職されるあいさつの中で生涯学習センターの建設を議会が凍結したことに大きな疑問を持っておられましたが、当時議会としては新庁舎建設を最優先に考えての判断でありました。しかし今後、合併特例債の期限が平成 32 年と迫ってきていることを踏まえ、有効な活用を考え実行していかなければなりません。生涯学習センター建設をどんな形で進められるのか、また、24 時間体制の消防出張所は加美区、八千代区は平成 30 年度に整備されますが中区の出張所に関してはまだ場所も決まっていない状況にありますがどのように考えておられるか答弁を求めます。

それとは別に、商工会も会館の老朽化や駐車場と進入路の不便などを理由に移転を考えておられます。これらの課題に対しても早急に連携を取り対応策を考えていただきたいと思います。

最後に、町長は役場の職員は黒子に徹するべきだといわれていますがその真意はどこにあるのか答弁を求めます。